

平成26年

第6回防府市議会定例会

一般質問

12月4日（4人）

1 山田 耕治・2 山下 和明・3 今津 誠一・4 上田 和夫

12月5日（4人）

5 山根 祐二・6 高砂 朋子・7 田中 健次・8 木村 一彦

12月8日（4人）

9 久保 潤爾・10 松村 学・11 山本 久江・12 吉村 弘之

No.	1	山田 耕治		
質 問 事 項			要 旨	
1	弱者を考慮したまちづくりについて		<p>(1) 今後も増える可能性を否定できない「肢体不自由」の方への市の取組みは？</p> <p>(2) バリアフリー経路や昇降機、エレベーター等の改善も公共施設では進められているが、計画に対しての実施状況は？</p> <p>(3) 歩道の幅員や勾配で、車いすで走行困難な場所の訴えはあるのか？また、市が把握し改善した個所はあるのか？</p> <p>(4) 来年以降のイベントで、防府市への来訪者も増えてくると予想される。障害のある方へのおもてなしは配慮が必要と思うが、計画している取組みや施策は？</p>	
2	子ども達への防災教育について		<p>(1) 小学校の低学年・小学校の高学年・中学校と大きく3つに分けた場合の防災教育の仕方や試みに違いがあるのか？具体的な事例は？</p> <p>(2) 防災教育は年間どれくらいの頻度、時間で進められているのか？</p> <p>(3) 学校で学ぶ防災教育が、地域、家庭へどう繋がり、どのような連携を取っているのか？</p> <p>(4) 中学での防災教育では、自分自身を災害から守ることに加え、災害時に必要となる助け合いやボランティア精神の育成も考慮するべきでは？</p>	

No.	2	山下 和明
質 問 事 項		要 旨
<p>1 地方創生 「まち・ひと・しごと創生」 への取り組みについて</p> <p>2 日本たばこ産業（株）（J T）防府工場の跡地開発に ついて</p>	<p>(1) 地方総合戦略版策定について 地方創生本部の立ち上げと総合戦略策定の スケジュールについて</p> <p>(2) 周南市・山口市・防府市（3市）共同共有 の観光総合戦略への協議の投げかけについて</p> <p>大和ハウス工業（株）と企業誘致の協力協 定書を交わしたが、防府市としての情報発信 と造成・分譲計画について</p>	

No.	3	今津 誠一
質問事項		要 旨
1	「野犬ゼロ」対策	市独自の里親制度を設け、市民との協働で野犬ゼロを実現することを提案する。
2	天満宮周辺の緊急交通対策	本年6月議会で天満宮周辺の緊急交通対策として、1 朝夕時間指定の車輛進入規制、2 交通取締り、3 新たな駐車場の確保 を提案し、積極的回答を得たが、その後の経過及び結果について問う。
3	観光振興策	「防府知っちょる？クイズ」を媒体に防府市の歴史・文化等を観光客にPRすることを提案する。
4	「だれもがワンボラ」運動	これまでの成果と今後の普及策を問う。
5	地方創生	安倍内閣は人口減少を重く見て、東京圏への人口集中の是正、地域での就業機会の創出、少子化対策をセットとした地方創生策を打ち出した。これについて問う。

No.	4	上田 和夫
質 問 事 項		要 旨
<p>1 火災予防の対策について</p> <p>2 学校での児童・生徒の安全面の対応について</p>	<p>(1) 老人福祉施設等のスプリンクラー設置状況について</p> <p>(2) 病院、有床診療所等の状況について</p> <p>養護教諭不在時の対応について</p>	

No.	5	山根 祐二		
質 問 事 項			要 旨	
1	市民協働のまちづくりについて		<p>(1) 道路の補修やカーブミラーの修理、その他公共施設の問題個所の発見のための道路パトロールは実施しているか。その方法と状況について伺う。</p> <p>(2) 市民が改修を希望する道路等、公共施設の問題は、現在どのような流れで担当課に届いているか。その処理の行程はどのようにされているか。</p> <p>(3) 市民の相談・依頼について処理が完了した場合、完了したことについて依頼者に連絡しているか。</p> <p>(4) 千葉市や半田市では、地域の課題について市民がスマホアプリで画像と位置情報を市に投稿するシステムを導入しているが、本市で採用してはどうか。</p>	
2	交通安全・防犯対策の推進について		<p>(1) 自転車左側通行と夜間無灯火運転禁止の啓発活動をしてはどうか。</p> <p>(2) 小・中学校の運動場周辺に公設防犯灯の設置をしてはどうか。</p>	

No.	6	高砂 朋子		
質 問 事 項			要 旨	
1	空き家対策について		<p>(1) 条例制定後の空き家の把握、対応の状況について</p> <p>(2) 空き家等の所有者に適正な管理を求めるための対策について  条例制定後の取り組みの多くは、老朽化が進んでいる空き家等に対するもの。今後は、相談窓口を一本化し、老朽化した空き家等の対策に加え、そうならないための対策を講じることが重要では。</p> <p>(3) 「防府市定住促進住宅情報バンク」の機能を活かすための対策について  現在、登録物件はない状況。今後、このバンクを活かして、定住促進につなげる重要な取り組みとすべきでは。</p> <p>(4) 空き家新法制定後の取り組みについて  空き家等対策の計画策定、協議会設置、情報収集等の取り組みについてのご所見を伺う。</p>	
2	「山頭火のふるさと」防府市における自由律俳句について		<p>(1) 「山頭火のふるさと」防府市において、自由律俳句に関して取り組まれている状況について伺う。</p> <p>(2) 山頭火ふるさと館建設にあたり、この時期を捉えて、子供たちにも自由律俳句の楽しさを伝えることについてのご所見を伺う。</p>	

No.	7	田中 健次	
質 問 事 項			要 旨
1	福祉行政について		(1) 近年の障害者福祉関係法の改正、制定に伴い、第4次防府市障害者福祉長期計画（平成23年度～平成32年度）を新年度に見直すべきではないか。
2	学校図書館について		(1) 学校図書館法の改正により、「学校司書」の配置が努力義務として明記されたが、市教育委員会はどのように対応していくのか。  (2) 「学校司書」の研修についても法改正で定めているが、どのように考えているのか。
3	防府の歴史の概説書について		(1) 中・高生以上が読める防府の歴史の概説書を、防府市史を参考に作成してはどうか。

No.	8	木村 一彦
質問事項		要 旨
1 介護保険について	<p data-bbox="707 360 1369 562">先の通常国会で「医療・介護綜合法」が可決成立し、介護保険制度が大きく変更されることになった。「防府市高齢者保健福祉計画（第7次計画）」もこれを反映した内容になっている。</p> <p data-bbox="683 607 1369 685">(1) 要介護1・2の高齢者に対するサービスは どうなるのか。</p> <p data-bbox="683 730 1369 808">(2) 特養入所者は要介護3以上となるが、市としてはこれにどう対処するのか。</p> <p data-bbox="683 853 1369 931">(3) 利用者負担が2割になる見込みだが、市としてはこれにどう対処するのか。</p>	

No.	9	久保 潤爾
質問事項		要 旨
1 空き家対策について	<p>空き家対策の推進に関する特別措置法が成立したが、これを受けて防府市は、今後どのような姿勢で空き家対策に取り組まれるのかについて伺う。</p> <p>(1) 防府市の空き家の現状について</p> <p>(2) 条例の見直しについて</p> <p>(3) データベースの作成について</p>	
2 若年層の市政への参画について	<p>市民の市政への参画と協働の必要性がとなえられる一方で、若年層（20代から40代）の政治離れが危惧されているが、防府市は、このことについてどうお考えになっているか。</p>	

No.	10	松村 学	
質問事項			要 旨
1	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の地権者の対応について		<p>山口県が本市に指定した土砂災害特別警戒区域、いわゆるレッドゾーンでは、特定の開発行為や建物の構造規制がされ、地権者にとっては不平等、また、住んでいる人に極度の精神的な負担も強いられ、厳しい指定であり、その指定した区域、565カ所について平成26年2月17日から3月13日まで、市内15会場で説明会を行ったところである。災害市である防府市が、平成21年の土砂災害を教訓として、この地域の方々に先進的に、積極的に対応するのが当然と考えるが、以下の点を質問する。</p> <p>(1) 説明会ではどの程度の地権者の方々に説明できたのか？主に地権者の方々からどのような相談・要望を受けたのか？</p> <p>(2) 平成26年6月13日のレッドゾーン告示前まで、市としてどのような業務をやってきたのか？</p> <p>(3) 災害の教訓を生かして、地権者の方々への今後の救済策をどう考えているのか？</p>
2	今後の地域交通のあり方（交通不便完全解消）について		<p>10月3日に第7回総合交通体系調査特別委員会を終え、富海（石原・戸田山）、大道（切畑）、小野（久兼・奥畑）の新たな交通サービスとしてデマンドタクシーを導入するとして、地元協議の進捗状況について説明があり、運行予定が遅々としているところであるが、新たな地域交通の事業化については、その他のたくさんの地区住民も長い年月をかけて強く待ちわびているところであり、そろそろ目標年次を決めて実行計画を作るべきでないか？高齢者（65歳以上）が3人に1人という超高齢化の人口構造に至るまであと10年である。このままでは、交通障害によって生活に不安を抱える住民が急増し、安心していつまでも生きがいを持って住む街とは程遠くなると思うが、来年から早急に策を講じるべきでは？</p>

No.	1 1	山本 久江		
質 問 事 項			要 旨	
1	公契約のあり方について		(1)	公契約条例の制定について
			(2)	入札制度改善の取組みについて
			ア	総合評価方式に、一定の賃金水準の確保や雇用の維持等を評価点に加えることについて
			イ	「品確法」の改正をうけて、最低制限価格の基準の改定について
2	大道駅のバリアフリー化について			JRとの協議の経過と今後の市の取組みについて

No.	1 2	吉村 弘之
質 問 事 項		要 旨
1	バイオマス発電について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) クリーンセンターにおけるバイオマス発電の現状と今後の見込みについて</li> <li>(2) 中国電力（株）とエア・ウォーター（株）のバイオマス・石炭混焼発電所の事業計画と市の協力体制について</li> <li>(3) 防府市における未利用材の現状とその有効活用について</li> </ul>
2	プレミアム商品券について	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 個人消費の喚起策の現状について</li> <li>(2) 過去の市内共通商品券発行事業の実績について</li> </ul>